

復興支援フォーラムニュース No.1

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先 今野順夫(tkonno67@gmail.com) 中井勝己(024-548-8313)>

☆ 第2回フォーラムのご案内(12月22日)

第2回「ふくしま復興フォーラム」は、以下の要領で行います。
多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2011年12月22日(木) 18時30分～20時30分(予定)
報告者 真木實彦氏(福島大学名誉教授)
テーマ 「原発災害と地域社会」
会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」大活動室 1
<MAX ふくしま 4F(福島市曾根田町 1-18)>

関心あるお知り合いに、宣伝をお願いします。

メールでのご案内であれば、「* *さまのご紹介でお送りしています」と付記して、こちらか、お送りしますので、メールアドレスを連絡ください。

なお、会場が有料のため、会場費等として、100円程度の任意のカンパをお願いする予定です。

本フォーラムは、7人のよびかけ人で発足しましたが、継続的に、さらに広範囲な皆さまのご参加をいただくために、「協力者」を募って、ホームページに掲載させていただきたいと思っています。

ご協力をいただける方は、ご連絡願います。(掲載内容は、氏名と簡単な肩書き又は所属又は職業等です。)

☆ 第1回フォーラムを開催しました。

さる11月29日、第1回「ふくしま復興支援フォーラム」を、福島大学「チェンバ舟場」で、開催しました。鈴木浩氏(福島大学名誉教授)に、「福島県復興ビジョンについて」と題して報告をいただきました。

狭い会場に、広範な専門分野から、32名のご出席をいただきました(弁護士、医師、建築士、社会保険労務士、不動産鑑定士、司法書士、土地家屋調査士、地方議員、NPO 等団体、大学関係者等)。各分野から切実な復興に向けた課題も出され、今後の取組みへの期待がされています。

<第1回フォーラムの参加者のご意見から>

○先が見えない状況で、方向性をどう見出せば良いのか。不安だけが残る、アドバイスいただければ、健康に問題はないのか。除染は本当に可能か。(Z.I)

○警戒(避難)区域の問題、その回りの汚染された地域の問題、そのさらに周辺の問題。それらを包含する問題、全体の問題、少し整理しないと議論が難しいかも。(K.S)

○すでにある、いくつかの復興会議との連携はないのでしょうか？復興プロジェクトが、それぞれバラバラに活動、提言をしても、チカラがそがれてしまう結果にならないのでしょうか？(K.S)

○2012. 3. 11に向けて何か準備ができれば・・・(H.S)

○生活者・住み続ける地域・住民の視点を。状況の共有・継続。福島県の縮小を阻止し、かつ大きく発信する見地(福島の発信なくして復興なし)。(S.S)

○震災後に家族や友達との会話で、“将来、健康な子どもが産めるのか”という放射線被害の不安が出てきました。しかし、医療機関に相談する機会もなく、不安が募るばかりでした。同じような立場の人も多いかと思います。多くの職場の方が集える場があるので、私の様な気持をもった人たち(学生等)と様々な職種の方とをつなぐ窓口のようになれば嬉しいです。本日は、ありがとうございました。(M.O)

<情報>

福島県復興計画(第1次)(素案)が公表され、県民の意見募集がされています。

12月16日(金)まで。

<同上(素案)等については、以下のホームページに掲載されています。>

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=26467#231130